

審議会等の会議結果報告書

課所名

環境課

会議名 令和7年度 第1回諏訪市環境審議会

開催日 令和7年8月1日(金) 書面開催

関係者

《委員》
宮原 裕一委員、小山 雅美委員、草間 由紀子委員、小松 弘明委員、笠原 雅男委員、
小口 和恵委員、土田 勝義委員、増澤 伽奈委員、古林 絵美子委員、小針 知栄美委員、
藤森 紀保委員、伊東 克幸委員、藤森 恵吉委員、小林 佐敏委員、中野 由生樹委員、
大館 道彦委員、山本 一海委員、村瀬 裕美委員、小泉 幸善委員
《諏訪市》
金子諏訪市長、大館市民環境部長、中澤環境課長、片桐環境保全係長、
名取ゼロカーボンシティ推進室主査、志賀環境保全係主査

資料

次第、資料1、資料2-1、2-2

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 説明事項※

資料1

※新任委員のみ 環境基本計画の概要、環境審議会の任務等

2 報告事項

(1) 令和7年度諏訪市環境推進会議の開催状況について 資料2-1、2-2

第三次諏訪市環境基本計画の進行管理

※資料2-1、資料2-2により第三次諏訪市環境基本計画の進行状況、取組、環境推進会議委員からの主な意見及びそれに対する担当課回答について報告

【質問・意見等】

○市民が当事者として参加できるような取組が多くみられる。さらに成果が広がることを期待している。

○資料2-2ではKPIに基づき、各項目の達成状況が評価されているが、それぞれのKPIがどのように設定されたのか、その経緯も資料に付けていただけると、目標の妥当性が判断できると思う。

→KPIは第六次諏訪市総合計画に基づき各課が実情に応じて目標数値を作成・設定をしているところです。

○市役所ロビーのパネル展示を拝見し、中々工夫された内容で評価したいが、市役所に訪れる方しか見られない。作成したパネルが一回限りの展示では非常に勿体ないと思う。

各地区公民館(中洲・湖南・豊田・四賀)や、小・中学校を持ち回りで展示したら、市民・学生の普及・啓発活動に大いに効果が期待できると考える。また、希望の企業があったら、貸し

出したらどうか。自分は太陽工業（株）の出身だが、グループ企業3社（ハイライト・太陽メカトロニクス）が「SDGS 推進企業」としての役割や行動、展示スペース面でも合致しているの
で薦められるし、「広げよう！SDGS の輪」のスローガンとも合致している。

→市としても様々な場で展示できるのはありがたい。市の施設以外に希望の企業があれば、貸し出すことは有益だと考える。グループ企業3社にも薦めていただけるとありがたい。

○霧ヶ峰に関係する部分についてアドバイスすることがあるか検討した。全体的に適切な対応だ
と思う。細かいところでは、冬期の車山、八島湿原への立入りがみられる。立入りは禁止され
ているが、その対応が不十分であるとの意見もある。これに対して、冬期の監視員の確保（地
元学生などのボランティア）や、スキー場の協力をお願いするという意見が出ている。ただ冬
期の天候不順時は遭難の危険もあり、全てボランティアに頼ることは難しい面もある。良い案
がないか検討している。

○霧ヶ峰の外来植物の駆除はなかなか困難。駆除による裸地、跡地にまた生育してくることがあ
り、絶滅は難しく、日常的、恒常的に駆除しなければならない状況。ボランティアの皆様には
ご協力をお願いしたい。

→諏訪市でも県と協力引き続き駆除作業に参加していく。

○霧ヶ峰は恒常的に森林化しており、それを阻止するか、放置するか（草原放棄）の異なる意見
が出ている。

→様々な意見の中、県が事務局であり関係団体が集まる霧ヶ峰自然環境保全協議会と情報共有を
引き続き行っていきたい。

○数ある取組について自分自身認識していないことが多く、誰もが協力できる取組については市
民や企業や子供たちにもっと伝わる（興味を持つ）発信方法があると良い。発信力＝持続可能
につながればと思う。

→市でも広報をはじめ、LINE 等の SNS、報道機関への発信等を行っているが、引き続き発信方
法を工夫していきたい。

○全ての事業に言えることだが、市民・団体・企業と共有する周知が大切と感じる。LINE や広報
等のもとより、すべての機会を通じ何回も告知し、市民や団体、企業を巻き込む対応を期待す
る。

→市の事業は市民や団体、企業の協力が不可欠であると考え、環境推進委員の皆様にも機会ある
ごとに周知する取組を始めた。今後も様々な方法で告知し関係機関を巻き込んでいきたい。

○60ヘクタール程の水田の「水稻栽培による中干し期間延長」による J-クレジットを実施した。
農林水産省は国全体のメタン排出量の約4割を占める水田からのメタン排出の削減を推進して
いて、「水稻栽培による中干し期間延長」が J-クレジット制度における新たな方法として承認
されている。諏訪市の農業は水稻栽培が主であるため、ゼロカーボン推進のため市全体で推進
したらどうか。J-クレジットによる売価が栽培者にも入るためメリットもあると思う。

→貴重なご意見として担当課と共有したい。